

タイでも本読み
ボランティア

バンコク生活を豊かにする ボランティア ガイド



ARC (アーク) どこでも本読み隊 バンコクサポーター

アークは2010年に全盲の本の虫である堀内佳美が設立した団体で、プラオ(チェンマイ)のコミュニティー図書館を拠点に、本に触れる機会に恵まれない人々にも平等に読書の機会を提供する移動図書館の運営や、少数民族の子どもたちのための教育支援活動、障がいの有無を問わずすべての子

どもが楽しめる「でこぼこ絵本」の製作・販売・配布を行っています。バンコクのサポートメンバーは、活動を紹介するためのイベントや講演会などの他、でこぼこ絵本のパーツ製作を行っています。

.....連絡先.....
✉ japanese@alwaysreadingcaravan.org
☎ 084-713-6933 (堀川)
f [アークどこでも本読み隊@ARCbookworm.jp](https://www.facebook.com/arcbookworm.jp)
HP <http://www.alwaysreadingcaravan.org/japanese/>

◎特集
タイでボランティア活動！
新しい友と出会い、
タイ社会とつながる。
窓が開き、新しい風が吹く。
そんな始まりの一步を
ここから。



ルアムジャイ

タイ国内日本人家庭ホームステイプログラム



タイの地方で日本語を学び、日本についてもっと知りたいと願う学生たちと、タイに住みながらタイのを知る機会がなく、もっとタイの人と触れ合いたいと願う日本人家族とをつなげるプログラムです。3日

間のホームステイを通じて、新しいつながりが生まれ、それぞれ日本語を学ぶ意味やタイにいる意味を発見し、お互いにとっての「生きる力」になることを目指しています。

連絡先

☎ 094-480-4818 (佐藤)

HP <https://homestayth.wixsite.com/ruamjai>

バンコク国立博物館ボランティア 日本語ガイドグループ



毎週水曜日と木曜日午前中に、バンコク国立博物館で日本語のボランティアガイドを行っています。実際にガイドをするのは、ひとり月に1~2回です。ガイドだけでなく勉強会も実施しています。入会後はまずタイの歴史を勉強します。毎年7月から11月は、宗教美術の勉強会を開催し、ガイドに活かせるよう努めています。また2年目から会の運営にも携わります。会の運営・勉強会の実施・行事の企画なども行い、やがいのある活動です。

連絡先

✉ hakubutsukan.bkk@gmail.com

f バンコク国立博物館ボランティア・日本語ガイドグループ

クロントイ幼稚園ボランティア

毎月第2水曜日にクロントイ・スラムにある幼稚園を訪問、1時間半ほど園児たちとリサイクル工作をしたり、園庭で遊んだり、昼食の炊き出しなどをしています。メンバーによる打ち合わせや訪問のための準備会を他の水曜日に行っています。その他、園児の母親らによる手作り品を販売するチャリティーバザーを年3回開催。バザーの際に、活動時の写真などを掲示したり、必要な時にはメンバーを募集しています。現在 新型コロナの影響で活動停止中です (6月末日現在)。



連絡先

✉ nishii_nk@hotmail.com
(西井孝江)

f クロントイ幼稚園ボランティア
”スーン パッタナ レ ポリカーン クロントイ”

シーカー・アジア財団

ボランティア活動は、内容、頻度活動に応じて様々です。図書館活動では、幼児、小学校低学年を対象とした絵本の読み聞かせやお話会、音楽、芸術活動。移動図書館活動では活動の補助や記録写真撮影、クラフト事業では販売イベントの企画からアシスト、商品開発などがあります。スラムツアー等のスタディーツアーの企画から実施、タイ語から日本語や英語への翻訳、広報等専門性を活かした活動もあります。これまでのボランティアの常識を超えたタイ発のボランティアを一緒に創りませんか？



連絡先

✉ arne.saf93@gmail.com
サントーン・マーユー(アネー)日本語可

f Sikkha Asia Foundation

HP <http://sikkha.or.th/jp/>

IG Feemue klong toey

佐藤里織さん×ルアムジャイ

タイの地方の高校生の ホストファミリーになつて

タイの地方で日本語を学ぶ中高生を、バンコクの日本人家庭がホストになり2泊3日のホームステイを受け入れるタイ国内日本人家庭ホームステイプログラム、ルアムジャイ。実行委員でホストファミリー歴8回の佐藤さんにお話をうかがいました。

応募しました。タイに来たばかりでしたし、まだ友達もいなくて引きこもり気味で、せっかくタイにいるのだからタイの人たちと触れ合いたいという思いがありました。最初の受け入れは2014年11月。タイ南部のトラン県の高校生の男の子2人でした。日本語を勉強しているといっても日本語は挨拶程度でしたが、その子たちは英語ができたので意思の疎通に困ったときは英語でした。当時は毎週どこかに出かけていたこともあって、一緒に外出して、夜は焼肉食べ放題に連れて行ってという感じでした。トランプをしようと言うので日本のゲームを教えたら、その後タイのゲームを教え、な



近所のベンジャシリ公園でピクニック

ご近所のベンジャシリ公園でピクニック

んだか新しい発見がありました。
—どんなふうに受け入れればいいのかでしょうか？

初めのうちは「おもてなし」を考えて頑張っていました、少し疲れるところがありました。何回目かときに、主人が家にいなくて遠出がでなかったもので、お弁当を作ってベンジャシリ公園に行くことにしたんです。そしたらお弁当を作ったことがすごく楽しかったと言うんですね。私たちにとって当たり前のことがタイの人にとっては特別な経験になることがわかり、普通でいいんだと悟りました。それからは台所で一緒に料理をすることにしています。メニューは簡単な巻き寿司やカレーなど家庭料理の定番です。料理好きな子なら、タイ料理を作ってもらうこともあります。

—お子さんはいかがですか？

うちの子は人見知りで、最初のうちは私が誘わないと遊ぶこともできなかったのですが、回を重ねるうちに「今度お兄さんが来たらこれやりたい」と言うようになります。子どもの成長を感じています。バスケットやサッカーなどスポーツ系は距離が縮まりますよ。

—3人のお子さんを育てる中で8回もホストになり、さらに実行委員も引き受けているその原動力は？

受け入れの後、生徒の学校の先生からレターをいただいて「やる気がなかった生徒たちの授業態度が変わった」「将来の夢を描くようになった」という報告があり、ホームステイプログラムがタイの



巻き寿司やおにぎり作りは大好き

子どもたちにとつてとても意味のある経験であることを実際に知ったことからです。

—興味のある方にアドバイスを。

妊婦さんでホストファミリーになった方もいるし、私自身も、1番下の子の妊娠中と、その子が生後4カ月のときに、受け入れをしました。泊まる部屋は個室がなくてもOKです。リビングにマットを用意したり、子ども部屋の共用でも大丈夫。ルアムジャイ代表の深澤伸子先生は「親戚が来たような感じで受け入れてくださいなね」「できないことはできないと言ってもいいよ」とおっしゃっています。ハードルを高くせずに挑戦してみてください。意外なところではご主人のいいところが見れるかもしれませんよ。

—ありがとうございます。



ルンアルン(暁)プロジェクト

タ イ山地民の人々が、独自の文化を守りながら発展的に豊かな生活を続けられること、異文化交流しながら、互いに学び合うことを目的に1987年から活動を続けています。教育支援活動として、学校外教育で中高過程を学ぶ研修生の受け入れ、高校生、大学生を対象とする奨学金、山間地の保育園支援など。持続型の農業奨励と環境を守る活動として、有機農業研修会の実施、水源の森を広げる植林活動など。2020年度は山地民の伝統文化の糸紡ぎ、手織り等を学ぶ研修会を実施予定です。バンコクではルンアルンコーヒーサポーターが販売のボランティアをしています。

..... 連絡先

✉ rungarun_akatsuki@yahoo.co.jp

☎ 089-556-1649 (中野穂積)

📘 Hozumi Nakano

📘 RUNG ARUN Coffee Supporter (サポーターサイト)



バンコクで販売と広報のボランティア活動をしているルンアルンコーヒーサポーター (左) コーヒーチェリーの手摘み作業 (右)

Wat Arun Community Learning Center

貧 困家庭の子ども及び青少年の教育支援を多角的に行っています。おもなプロジェクトのひとつが、高卒の女子学生を寄宿生として受け入れ、大学の看護学科で学ぶ機会を与え、准看護師の資格取得後は病院等へ就職支援を行う無償の奨学金制度です。現在、英語や日本語、おりがみなど日本文化を教えてくださいるボランティアを募集しています。

..... 連絡先

✉ chalotte160284@gmail.com

☎ 086-355-9302

(Miss Mayuree Kojirapan)



サロン・オ・デュ・タン

夢 の実現サポート、リラックス空間の提供、メッセージ発信の場、この三つのコンセプトで活動しております。サロンオープン以来、たくさんの素敵な出会いがありました。様々なイベントやコンサートの開催のお手伝いして下さる方を募集しています。デスクワーク、子連れボランティアOK、演者のために役に立ちたい。演奏やダンスでのボランティア、スラム地域への社会貢献など。少しでも興味がある方はお気軽にお問い合わせください。楽しく素敵な時間を一緒に過ごしましょう！



..... 連絡先

✉ salohdtemps@gmail.com(加古川成子)

📘 https://m.facebook.com/salohdtempsbkk/?locale2=ja_JP

HP <https://salohdtemps.wixsite.com/salohdtemps/about-us>

ヤマトナデシコ in Thailand NADETHAI



2 011年、3月には東日本大震災が、10月にはタイで大洪水が起きました。その時に日本とタイの災害孤児を支援したいと発足しました。現在は主にタイとミャンマーの国境近くにある学校兼児童養護施設「虹の学校」を支援しています。物作りを通じた支援をメインに、ハギレや古着を使った布製品(布草履、布ナプキン、布マスクなど)の製作販売や、虹の学校商品の委託販売を行っています。



..... 連絡先

✉ nadethai.japan@gmail.com

☎ 081-810-0046(吉澤)

浅原晴美さん×一般図書館ボランティア

活動を通じて人とつながり

世界が広がりました



スタッフのおススメ本コーナーの前で

会社を辞めて帯同家族としてタイへ。リタイアしてのんびりのはずだったバンコクで感じたのは「自分を変えないとダメになつてしまう」という焦燥。そんな折に目にしたのが日本人会のボランティア募集の記事でした。

— ボランティアのきっかけは？
夫がタイに駐在することになり、30年間勤務した会社を辞めて2017年8月にバンコクに来たのですが、海外生活も家にずっといる生活も初めて。リタイアしてのんびりのつもりでしたが何か違うと感じ始め、「自分を変えないとダメになつてしまう」と思いつめていた頃、日本人会ボランティア



年間の蔵書増加数は500冊。新刊や話題の本、雑誌もあります

募集の記事を見ました。迷った末、日本人会別館に電話したところ、事務局の方が親身になって話を聞いてくださって、励まされて、図書館ボランティアに参加させていただくことにしました。

— 具体的な仕事の内容は？

2018年の6月から始めて、しばらくはカウンターでの貸出返却業務が中心で、2019年度は1年間の任期で世話役として活動しました。年度前半はマニュアル整備や図書館システム内のエラーデータクレンジング等の「改善」を、後半は「利用者増」を目的に活動。別館一般図書館は寄贈本が置いてあるだけというイメージが独り歩きしている感がありましたので、図書館の魅力を伝えたいと考え、ホームページとラインで新着本やおススメ本の情報を仲間と協力しながら配信しました。

— 新しい試みで入館者がぐっと増えたとうかがいました。

一般図書館には子ども向けの学習系の本が少し置いてあり、小学校のお子様を持つお母様がそういった本をよく借りていくのに気づいて、家族向けコーナーを立ち上げ、歴史漫画や科学漫画(サバイバルシリーズ)、事典シリーズ(『さんねんな生き物事典』など)、小学校高学年のお子様向けの本をコーナーに集めたんです。それにメンバーからの寄贈協力があつて、コーナーを拡充することができました。

とても好評で、3月は新型コロナのため24日以降クローズしたにもかかわらず、年度合計は延べ利用



このサバイバルシリーズと事典シリーズ

者数・貸出冊数共に過去最高を記録することができました。サバイバルシリーズは21冊ありますが、次々と貸し出されるので本棚に並ぶ間がないくらいでした。アイデアや工夫、仲間との協力で、様々な年代層の利用が増えていく変化を実感できたので、非常にやりがいがありました。

— ボランティア活動はどんな存在でしたか？

期間限定の駐妻生活、自分が何かお役に立てたらと始めたボランティアですが、活動を通じて人とつながり世界が広がりました。ボランティアは「無償の貢献」というイメージですが、成長の場でもあり自分が磨かれる場でもあると実感しています。

— 本帰国間近とうかがいました。日本でのご予定は？

リタイアしたんだわと思ってバンコクに来たのですが、どうも成仏できていなかったといえます。バンコクでの時間は自分にとって仕事とは何かということ、一旦距離を置いて問い直す期間だったと思います。「仕事を通じて社会とつながっていたい」という答えが出ましたので、日本でも何らかの仕事はしたいなと思つています。

— ありがとうございます。

すくすく会



<https://sukusukubkk.wixsite.com/sukusukukai>

おっぱいミーティング

助産師さん・看護師さんはもちろんですが、ご興味のある方ならどなたでも大歓迎！ 妊婦さんや授乳婦さんとのふれあいは、なんだか優しい気持ちになれる幸せなひとときです。ぜひ、見学にお越しください。

連絡先

☒ opm_bkk@yahoo.co.jp

わんぱくミーティング

未就園児向けの様々なイベントの企画運営、双子の親子向けのさくらんぼおしゃべり広場、バンコクでの離乳食情報の提供、幼稚園案内の発行など、幅広く活動しています。活動頻度や内容は、わんぱくミーティングのページをご覧ください。親子で一緒に楽しめるボランティア活動です。

連絡先

☒ bkkwanpaku@yahoo.co.jp



すくすくだより編集部

会報誌「すくすくだより」の企画・編集を担当しています。活動頻度は「月1～2回（水・金）約3時間」自宅でのPC作業があります。取材も楽しく、皆で作った達成感や満足感もあります。また「すくすくだより」の各種投稿もお待ちしております！

連絡先

☒ sukusukudayori@yahoo.co.jp

☒ [@sukusukudayoribkk](https://www.facebook.com/sukusukudayoribkk)

キッズルーム

2017年に発足したグループで、まだまだ手探りで活動中！ 現在は、キッズルームの管理、イベントの調整が主なお仕事です。スタッフ会議が月1回程度、イベントのアテンドは可能な日時のみ、他は自宅でPCやLINEを使ってできる内容です。いろいろな人に出会いたい、いろいろなことを試したい、新しいグループと一緒に作っていききたい…そんな方にぴったりです。

連絡先

☒ sukusukubkk@gmail.com

出産準備教室



<https://syussanmeeting.wixsite.com/syussanbkk>

助産師さん・看護師さんはもちろんですが、ご興味のある方ならどなたでも大歓迎！ 活動頻度は「月1回（原則 奇数月：第2水曜/偶数月：第3土曜）3時間程度」。あなたの可能な時間だけのお手伝いで構いません。また、タイでご出産された「母親体験談」「父親体験談」の話し手さんも随時募集中です。少しでも興味が湧いたら、まずはお気軽にお問い合わせください。

連絡先

☒ syussan.meeting@gmail.com

日本人会



<https://www.jat.or.th/jp/>

バンコク子ども図書館

子どもたちのために！自分磨きのためにも！たくさんの本に触れる機会を作りませんか。バンコク子ども図書館では、厳選された良質の本を約1万冊取り揃えております。毎月変わる手作りのディスプレイが飾られた温かい雰囲気の中、季節の本、新着本、おすすめ本など、本を手取る喜びを、運営のお手伝いをしながら一緒に感じませんか。

連絡先

☒ 02-662-4950 (日本人会別館子ども図書館)

☒ [@kodomotosho](https://www.facebook.com/kodomotosho)

別館一般図書館

月に2回程度の3時間、スクムビット別館の図書館内カウンターで貸出・返却手続きのお手伝いをしています。年4回開催の図書ボランティア会議では図書館運営や新規購入書籍の選定についてご意見をいただくことも。1万2000冊の本に囲まれて、読書しながらボランティア。読書好きにはたまらない環境です。月刊誌も置いています。

連絡先

☒ 02-662-4948 (日本人会別館)

☒ annex@jat.or.th

チャリティーバザー実行委員会

チャリティーバザーの商品の値付けや梱包等の事前準備や、当日の販売・金額集計等バザー当日は、お客様の誘導等がありますので、男性も大歓迎です！

連絡先

☒ 02-236-1201 (日本人会本館)

☒ info@jat.or.th

もちつき祭り

日本人会の恒例行事「もちつき大会」。約40Kgのもち米を朝8時から蒸して、ついて、参加者にふるまいます。餅つき経験者はもとより、興味のある方、お時間のあふ方、飛び入り参加も大歓迎。

連絡先

☒ 02-236-1201 (日本人会本館)

☒ info@jat.or.th



※日本人会ボランティアではボランティア証明書の発行が可能です！